

令和5年度東松山市まち・ひと・しごと創生意見交換会 会議録

開催日時	令和5年5月31日(水)	開会	午前10時00分
		閉会	午前11時50分
開催場所	東松山市役所 総合会館3階 302会議室		
会議次第	1 開会 2 議事 (1) 総合戦略の進捗状況について (2) 地方創生拠点整備交付金効果検証について (3) 企業版ふるさと納税について 3 その他 ・意見交換 4 閉会		
公開・非公開の別	公開	傍聴者数	0名
出席	川越公共職業安定所 東松山出張所 出張所長 須賀 雅之 氏		
	埼玉県川越比企地域振興センター 東松山事務所 事務所長 塚田 務 氏		
	東松山市商工会 経営指導員 村田 秀樹 氏		
	埼玉りそな銀行 東松山支店 支店長 村田 宏史 氏		
	武蔵野銀行 東松山支店 支店長 白崎 靖 氏		
	埼玉縣信用金庫 東松山支店 支店長 上田 純一 氏		
	東松山ケーブルテレビ株式会社 放送局長 横田 和則 氏		
	学校法人 大東文化学園 事務長 大畑 栄司 氏		
	東松山起業家サポート投資事業有限責任組合 無限責任組合員 PE&HR株式会社 代表取締役 山本 亮二郎 氏		
	東松山市役所 政策財政部長 桶谷 易司		
事務局	政策財政部 次長 町田 憲昭		
	政策財政部 政策推進課 課長 今井 秀典		
	政策財政部 政策推進課 活性化戦略室 室長 新村 久徳		
	政策財政部 政策推進課 活性化戦略室 主査 堀越 和行		
	政策財政部 政策推進課 活性化戦略室 主事 千野 美由紀		

次 第	顛 末
<p>1. 開会</p> <p>2. 議事 （1）総合戦略の進捗状況について</p> <p>（事務局 新村室長）</p> <p>（座長 桶谷部長）</p> <p>（振興センター 塚田氏）</p> <p>（武蔵野銀行 白崎靖氏）</p> <p>（事務局 新村室長）</p>	<p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会宣言 ・自己紹介 ・資料確認 ・座長選出（桶谷政策財政部長を座長に選出） ・会議録署名人の指名 （埼玉縣信用金庫 上田氏、東松山ケーブルテレビ 横田氏を指名） <p>（1）総合戦略の進捗状況について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略概要について【資料1】 ・数値目標・K P I 達成状況・人口分析について【資料2－1・2－2・2－3】 <p>総合戦略の達成状況等について、質問や意見はあるか。</p> <p>コロナウイルス感染症で影響を受けたもの以外については数値的にしっかり伸びている。数値が落ち込んだ部分について、どのように回復改善し目標達成するかが必要である。</p> <p>資料2－3のリーサスと住基人口の数値の違いはなにか。</p> <p>リーサスの数値は、国勢調査のものである。住居実態はあるが住民票を動かしていない学生や外国人等の人数が入っているため、住民基本台帳の人口を上回っている状況となっている。</p>

<p>(座長 桶谷部長)</p> <p>他に、質問や意見はあるか。</p> <p>一同、意見なし。</p> <p>2. 議事 (2) 地方創生拠点整備交付金効果検証について</p>	
<p>(事務局 新村室長)</p>	<p>(2) 地方創生拠点整備交付金効果検証について説明 ・東松山市農林公園について【資料3-1・3-2】</p>
<p>(座長 桶谷部長)</p>	<p>地方創生拠点整備交付金効果検証について、質問や意見はあるか。</p>
<p>(商工会 村田氏)</p>	<p>成果指標の実績値が目標値と比べて少し低い部分はあると感じた。実際に農林公園へ行って見たが、ずいぶん頑張っていると思う。ただ、市外に対しての宣伝が足りない部分があるのではないかと。小川町の商工会に2年間いたが、農林公園がリニューアルされたという情報は、知らなかった。市外の方に知ってもらう宣伝を行うことでもっと効果が上がってくるのではないかと。</p>
<p>(事務局 新村室長)</p>	<p>目標値と実績値に関するところだが、この目標値の設定が加速度的な売上や研修生が増える形となっている。コロナウイルスの影響や、施設開始の序盤であり、加速度的な増加は難しい状況ではある。ただ、売上等下がることなく維持できているので徐々に上昇していくものと考えている。</p>

(武蔵野銀行 白崎氏)	農業生産額について教えて欲しい。また実施しているのは誰なのか。
(事務局 新村室長)	主に、いちごの摘み取り体験の売上となる。運営に関しては、指定管理者制度を活用し民間事業者が管理・運営を行っている。
(武蔵野銀行 白崎氏)	それは地元の人がやっているのか。
(事務局 堀越主査)	いちごの生産については、春日部市の民間業者になる。日本一の賞を取ったような有名な会社で、質の高いいちごを生産している。また、その生産過程において、研修生がいちごの栽培方法を同時に学んでいる状況である。
(武蔵野銀行 白崎氏)	売上がその事業者の利益になるのか。
(事務局 堀越主査)	現在、利益が出るまでは行っていない。施設全体としての指定管理になるので、プラスの部分、マイナスの部分を含めて、足りない部分を指定管理料として出している。業者にしてみると、公共施設での実績を得られ、それが宣伝に繋がっていくメリットはある。農業研修についても、指定管理者にお願いしており、栽培の仕方を学んだ研修生が最終的に市内でいちご農家として巣立っていくことを目指している。
(埼玉縣信用金庫 上田氏)	実は昨日、農林公園へ行ってきた。綺麗に整えられ、周りの風景と一体化して素晴らしい公園であった。遊具やいちご収穫体験といったことからファミリー層向けのコンセプトなのかと思うが、交通手段がないことや、遊具の近くにベンチがないなど不便だと感じる部分もあった。農業の勉強ということで高品質のいちごを栽培するということはわかるが、ファミリー層向けの子どもが楽しめる品質でもいいのではないかと。また、お昼頃のカフェでは、外まで人がいて、集客力はあるのかと思うが、若い方はそれほど来ていなかった。ファミリー層を呼ぶのであれば、

	<p>インスタグラムやSNSを活用し周知する努力をした方が良いのではないか。また、いちごの季節以外の施設を活用した料理教室や体験など目玉が必要である。</p>
<p>(事務局 堀越主査)</p>	<p>いちごの季節以外の集客として施設内にブルーベリーとミカンが植えられている。それがようやく大きくなり、今年から収穫体験ができるところである。いちごが12月から翌年5月ぐらいまで、その後ブルーベリーやミカンが続く。また、いちごがない時期には、市内の特産品である梨や栗を使った商品を販売している。焼き栗販売は大変な人気であった。年間を通じてイベントを開催し、楽しんでいただけるよう努力をしているが、ご指摘いただいた通りPRが足りない部分がある。市外向けにPRをしていくことが、これからは課題になってくると思われるので、担当課へ伝えたい。</p>
<p>(武蔵野銀行 白崎氏)</p>	<p>この目標値を目指すということだが、事業者はインセンティブがあるのか。また、どういう経緯でこの業者を選定したのかがわからないが、企画とか募集をした中で比較し採用したのか。さらに施設で生産された農産物や加工品については、東松山プライドに取り組みされているのか。市の施設から生み出されたものが評価されれば、モチベーションも上がるのではないか。</p>
<p>(事務局 堀越主査)</p>	<p>まず、指定管理者はプロポーザルにより3者の中から選定された。費用面、企画の内容、運営面の安定性等で評価をし、現在の事業者が決定された。ご指摘いただいた通り、事業者がより良いものに取り組むためには、やはりそれに対してのインセンティブがないといけないと感じる。その辺りについても、どのように改善できるかを考えていきたい。東松山プライドについては農林公園で作ったものをプライド商品として認定してもらえるように努力していきたい。</p>
<p>(商工会 村田氏)</p>	<p>確か、農林公園も東松山プライドの商品を作っていた。ただ、プライド商品は全部が認定されるわけではない。途中の段階で残念ながら認定には至らなかったと聞いている。</p>

<p>(東松山ケーブルテレビ 横田氏)</p>	<p>やはり PR の部分が重要だと感じる。農林公園を Web で調べると Google の口コミが良く、レビュー数は 260 件、星も 4 だった。皆さんのコメントもいい。ただ、じゃらんやアソビューといった遊びに行く時に調べるサイトではレビュー自体が少なく、Google の口コミだけが目立つと感じた。SNS での発信も非常に重要で、調べるツールを充実させていくのも PR に繋がるのではないかと。掲載するだけで口コミが集まるかは難しいが、意識して誘導することはできるのではないかと。</p>
<p>(事務局 堀越主査)</p>	<p>その通りだと思う。担当課へ伝えたい。</p>
<p>(大東文化大学 大畑氏)</p>	<p>大学で子ども大学というのを実施しており農業体験をした。また、東上線沿線と西武線沿線の大学、自治体、事業者等で形成した埼玉東上地域教育連携プラットフォーム(通称 TJUP)では、大学生による東松山市 PR ビデオを作ろうということで、学生たちが一番気に入った場所が農林公園のカフェだった。私自身も何度も足を運んだが、よい場所ではあるが、やはり交通の便が悪い。しかし、この便の悪さもひとつの武器で、歩け歩けのまち東松山ということで、駅からの徒歩による時間をお知らせするのも一つかもしれない。ただ、色々な方にお越しいただくためには、シャトルバスみたいなものが増えるといい。農林公園の近隣にあるガーデンカフェプラナスも隠れた人気スポットで、その脇のコエドビール工場も昨年 11 月と先日の 5 月 27 日、28 日に麦ノ秋音楽祭というフェスを開催した。今ここの地域は、学生たちの間ではおしゃれでかっこいいスポットになりつつある。交通の便を考えてもらえると、もっとよい効果が出るのではないかと。</p>
<p>(事務局 堀越主査)</p>	<p>農林公園と近隣観光施設等を繋ぐ取組のひとつとして、コエドビールとコラボして栗ビールを作った。東松山特産の栗を焼き栗に加工し、ビールの原料として使用した。新聞等にも取り上げてもらい PR を進めているとことではあるが、まだ、周知が足りず、新たな PR 方法を模索していきたい。交通の便については、市内循環バスが農林公園まで行かないところが課題。歩くという方法も 1 つかと思うが、</p>

<p>(座長 桶谷部長)</p>	<p>いい方法について、担当課とも引き続き、検討していきたい。</p> <p>事務局に確認したいが、この意見交換会の中で外部有識者による評価が必要ということでよいか。</p>
<p>(事務局 新村室長)</p>	<p>はい。地域再生計画の計画期間が終了したので、評価が必要となる。</p>
<p>(座長 桶谷部長)</p>	<p>課題や改善点、周知の等について意見や提言があったが、観光入込客数や人口維持にも繋がっていることを踏まえ総合戦略の KPI 達成に有効であったということでよいか。</p> <p>一同、意義なし</p>
<p>(座長 桶谷部長)</p>	<p>課題や改善点について皆様の意見を記載した上で、評価は総合戦略の KPI 達成に有効であったとしたい。</p>
<p>2. 議事 (3) 企業版ふるさと納税について</p>	
<p>(事務局 堀越主査)</p>	<p>(3) 企業版ふるさと納税について説明【資料4-1・4-2】</p>
<p>(PE & HR 山本氏)</p>	<p>東松山のファンドとして一定の効果を上げてきたと考えているが、農林公園の農業研修生の新規開業、就農も含め、新たに商売を始めるに人に対して企業版ふるさと納税の資金を活用することはできないのか。</p>

(事務局 新村室長)	寄附される企業の意向があれば可能である。
(武蔵野銀行 白崎氏)	実際に企業に出向いてお願いするのか。
(事務局 堀越主査)	その通りである。市職員が企業訪問をしている。
(武蔵野銀行 白崎氏)	今回、寄附のあった東武トップツアーズは大東文化大学の繋がりか。
(事務局 堀越主査)	大東文化大学と連携事業を行っているのは同じ東武グループではあるが別の会社である。今回は別のご縁から寄附に至ったもの。
(武蔵野銀行 白崎氏)	民間だと紹介活動が営業ツールとなる。商流の先の企業を紹介してもらえるといいのではないか。
(事務局 堀越主査)	企業訪問では決定権のある方と面会できないと寄附までには至らない。元々の信頼関係がどこまで築けているかが大事だと感じる。そうした意味でも紹介活動は非常に有効な手段であると思う。金融機関の皆様には日頃から民間企業の方とやり取りがあると思うので社会貢献を考えている企業がありましたらぜひ、紹介していただけると助かる。

<p>3. その他 ・意見交換</p> <p>(座長 桶谷部長)</p> <p>(埼玉りそな銀行 村田氏)</p> <p>(武蔵野銀行 白崎氏)</p> <p>(埼玉縣信用金庫 上田氏)</p> <p>(東松山ケーブルテレビ 横田氏)</p>	<p>皆様の地方創生の担い手としての取組活動を教えていただきたい。</p> <p>地域活性化を目的としたラボ玉という会社を設立し、東松山市と情報交換をしているが、いろいろな市町村で成功事例も出てきている。今まで以上に新たな切り口での提案ができるようになってきた。企業版ふるさと納税についても、一部の市町村では協力をし、いい事例なども出てきている。農業についても強く関わっていこうと専門の部署を作り、農業の支援体制を作ったところである。市の地域活性化のために事業を始めたい方々へのお手伝いを積極的にしたい。</p> <p>空き家や空き店舗が目立ってきて、何か協力できないのかという話もいただく。体系立ててというのは難しく、我々の方でマッチングさせながらやっているつもりだが、皆さんと連携してやっていけるといい。</p> <p>コラボ産学官という子会社があり、農産物のブランディングの部分で東松山市農業公社の商標登録といった相談や手伝いをしている。引き続き、東松山市のPRに繋がるような事業に尽力して参りたい。</p> <p>地域の情報を届けていくのが使命であるが、昨年7月12日の集中豪雨では全国的にずいぶん取り上げられた。鳩山町が中心であったがSNSを通じて内部情報を発信した。特に水が氾濫しているところをリアルタイムに出した。通常Twitterの動画の視聴数は2桁～3桁だが、平均が1万～2万視聴まで上がった。最も高かったものでは9万6000件の視聴があった。防災減災という意味で、リアルタイムの情報を我々も収集し連携しながら住んでいる方や近隣の方へ情報を発信していきたい。今後、定点カメラを駅、高速道路、国道、河川へ設置していくことを計画している。防災減災というところから始めて、いろいろな情報発信をし</p>
---	---

<p>(大東文化大学 大畑氏)</p>	<p>ていきたい。それから、ケーブルテレビが 20 周年、東松山市が 70 周年ということで、ぜひ、一緒に周年事業をやらせていただきたい。</p>
<p>(大東文化大学 大畑氏)</p>	<p>TABETE レスキュー直売所では産学官の取組として関わっている。東松山市周辺の直売所で売れ残った野菜を池袋駅で再販売し、更にそこでも余ってしまった野菜を都内の企業に引き取ってもらい、こども食堂のお弁当として無償配布している。また、大東文化大学板橋校舎では、このこども食堂で配布しているお弁当を学生対象にワンコインで販売し、大変好評である。東松山校舎ではコロナ禍で 3 社あった学食が 2 社撤退したため、学生たちがお昼の食事に苦慮している状況である。今後、板橋校舎のように社会課題の解決に貢献できるような仕組みを導入できないか模索していきたい。</p>
<p>(PE&HR 山本氏)</p>	<p>2016 年に結成したファンドだが、昨年、埼玉県全域で創業支援のファンドを拡張、拡大したエクイティ投資の取組を開始した。埼玉県のみで使用でき、スタートアップ企業への投資や上場の支援と新たに商売を始める方々や農業に従事する方々を様々な形で応援をしていきたい。</p>
<p>(川越公共職業安定所 須賀氏)</p>	<p>今年度、国、埼玉県、東松山市合同で 11 月に面接会を予定している。最近では就職活動にオンラインも導入され多様な就職活動が展開されているが、雇用環境は依然厳しく、有効求人倍率が埼玉県内の季節調整値で 1 倍を超えているものの、ハローワーク東松山管内では県の平均に比べても 0.2 程度低い。また、昨日発表された 4 月の有効求人数は 0.7 人と厳しい状況となっている。今後は、面接会等、雇用の結びつきの機会を多く作れるよう市、県と連携を深めながら地域の活性化に繋げていきたい。</p>
<p>(地域振興センター 塚田氏)</p>	<p>ふるさと創造資金を活用して、高坂のプロムナード事業やぼたん園の整備を支援している。また、東松山市が中心となっている比企地域元気アップ実行委員会では、企業紹介動画作成の支援している。今後も小回りが利くような支援をしていきたい。</p>

